

月次売上情報

2024年4月期 店頭販売実績

(単位:前年比)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	上期累計
日本	日本計	94%	106%	105%	103%			101%
	店舗	94%	106%	103%	103%			101%
	EC	95%	105%	114%	101%			103%
	日本既存店	94%	105%	105%	103%			101%
	店舗	94%	105%	103%	104%			101%
	EC	95%	104%	114%	101%			103%
韓国	韓国計	102%	101%	109%	105%			105%
	店舗	101%	99%	107%	105%			103%
	EC	105%	119%	121%	111%			114%
	韓国既存店	102%	98%	105%	99%			101%
	店舗	102%	94%	102%	97%			99%
	EC	104%	119%	120%	111%			114%
合計	日本・韓国計	98%	103%	107%	104%			103%
	店舗計	98%	102%	105%	104%			102%
	EC計	99%	111%	117%	105%			108%
	既存店計	98%	101%	105%	101%			101%
	店舗計	98%	99%	103%	100%			100%
	EC計	98%	110%	117%	105%			107%

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	下期累計	通期累計
日本	日本計								101%
	店舗								101%
	EC								103%
	日本既存店								101%
	店舗								101%
	EC								103%
韓国	韓国計								105%
	店舗								103%
	EC								114%
	韓国既存店								101%
	店舗								99%
	EC								114%
合計	日本・韓国計								103%
	店舗計								102%
	EC計								108%
	既存店計								101%
	店舗計								100%
	EC計								107%

(4月の店頭販売概況)

日本では、全国的に気温が高かったことで、「A.P.C.」では春物アウターやカットソーが好調に稼働したほか、SNSでのタイアップ施策を実施したデニムの売上高が伸長しました。「マリメッコ」では、3月に開催したファッションショーの影響もあり、半袖トップスや高単価なワンピースが堅調に推移した結果、4月全体では店舗・ECともに前年同月を上回りました。

韓国では、月前半は祝日が前年より1日多かったことに加え、日本同様に気温が上昇したことで、春物販売が好調に推移しました。また、月後半から月末にかけての連休で集客が増加した郊外型アウトレット店舗でのセール販売が伸びたことなどにより、4月は前年実績を上回って終了しました。

以上の結果、4月単月の日本・韓国の合計は、前年比104%(店舗104%、EC105%)、既存店の前年比101%(店舗100%、EC105%)となりました。

- (注) 1、上記のデータは、当社グループの月次で集計可能な国内・韓国における実店舗及びオンラインショップでの販売実績(小売価格)に基づいています。
- 2、韓国における販売実績は、期中平均の為替レートを使用して円換算しています。